



保坂 悟 議員

質問 0歳から18歳の一貫教育を推進する 糸魚川市による市内県立高校の魅力 づくり側面支援について

糸魚川高校、白嶺高校、海洋高校の魅力づくりについて、どうか。

▼市長答弁

少子化の中で、学校の生き残りを意識して、生徒にとって魅力のある学校づくりを進めるため、主体である各高校が今後どのような学校づくりを進めていくのか、高校、県教育委員会と協議し、各校の取組に対して、更に市が支援できることを検討していきたい。

質問 身近な定住促進戦略について

(1)雇用の維持と創出、ミスマッチ解消のために、糸魚川

- 市政労使会議(仮)の設置が必要と思うがどうか。
- (2)安心安全な生活環境整備について、ドクターヘリの上越エリア配備、子どもや女性のための防犯カメラの設置支援、防犯強化のため街灯設置の支援拡充はどうか。
- (3)自然環境の整備と魅力づくりについて、久比岐自転車道を始めとした地域内の農林道を活かし、サイクリストやランナーが楽しめる日本一のスポーツロードを目指した整備はどうか。

▼市長答弁

- (1)既存の雇用促進協議会を始め、ハローワーク、経団連など、関係機関とのさらなる連携を強める中で対応していく。
- (2)当市と妙高市、上越医師会、糸魚川市医師会が、5月に県知事あてに上越地域へのドクターヘリ配備について要望している。防犯カメラについては、プライバシーの問題や、設置要件などを精査する中で、検討していく。また、現在、地区が設置する街路灯について、設置費用の一部を補助しており、拡充は考えていない。
- (3)グランfond糸魚川のダイナミックなコースや久比岐自転車道を基本として、環境整備に努めていきたいと考えている。



渡辺 重雄 議員

質問 中山間地域の喫緊の課題と 対策について

人口減少、後継者・担い手不足、耕作放棄地の増加、コミュニティー機能の低下が深刻な状況であり、中山間地集落の崩壊の危機が迫っていると言っても過言ではない。そこで、糸魚川市の中山間地域の集落機能や保全管理機能、生活環境などの喫緊の課題と対策について伺う。

また、従来、農林業生産基盤として管理されていた農地・山林が、近年、生産資源としての価値の低下や有害鳥獣などによって管理放棄や耕作放棄が発生するなど、保全管理機能の低下が著しいが、その課題と対策について伺う。

▼市長答弁

集会施設、道路などの維持管理や、祭など行事の実施が難しくなっているため、移住・定住を促進するとともに、地域づくりプランの作成につながる取組や集落支援員、地域おこし協力隊の拡充により、地域の活力につなげたいと考えている。

また、近年、中山間地域では、過疎化、高齢化による担い手不足、有害鳥獣による農作物被害及び耕作放棄地の増大など、深刻な問題が山積している。このような状況から、農業において日本型直接支払制度が創設され、平成26年度から平成31年度に、約18億円の交付金を地域で有効に活用することで、市としては農村環境の保全活動を支援していきたいと考えている。林業については、木材価格が低迷する中、育林放棄地の増加により荒廃山林が拡大し、これまで中山間地域で支えられてきた多面的、公益的機能に支障が生じつつあるため、今後、糸魚川産材使用住宅の建設促進と中国への輸出による木材需要の創出を図りたいと考えている。